

## 清水栄一氏選定の「信州百名山」完登達成しました。

2010.5.2 赤沼健治

昨年10月の信州山岳ガイド選定の「信州百名山」続き、5/2 一度は諦めた清水栄一氏選定の自家「信州百名山」の最後の堂津岳 1927Mの登頂に成功しました。この山は登山道が無く、奥裾花自然園への道路の開通する直後のGWにしか登山できません。

5/1 勤務終了後自宅 16:20 発 途中買い物して白馬村経由で 18:00 に観光センターの駐車場に到着。車中泊。5/2 5:30~6:05 自然園の休憩舎着 6:10~7:30 稜線上に。奥西山を越えて 9:55 に堂津岳に到着。10:30~12:50 下降点~13:35 観光客でにぎわう自然園休憩舎。13:45 発のシャトルバスに乗り、13:55 観光センター P 14:00~15:25 自宅。

雪山の本格的な登山経験がないために「慎重派」としては悩んだ。山梨のTさんが5/9に同行してくれる事になった。天候が良かったら其の前にお一人でどうぞ。とも言ってくれた。体力の低下で今年のGWがラストチャンス。私の休みは5/2、5/4、5/5、5/9。GPSの使い方の勉強をする。5/9にしたいが、当日天候悪ければ来年は体力的に無い。お言葉に甘えて5/2 天気良さそうなので、決行を決める。山の先生的存在のMさんに注意、アドバイスを貰い、アイゼンはN氏から借用した。3氏には感謝します。この登山の最初のハードルは稜線へ如何に雪び越えするかである。4/29は天候悪く、4/30、5/1は数人しか登山しなかったようでトレースは見あたらない。地図と現地で稜線を見上げての自己判断となったが、うまく稜線へたどり着いた。セップも高さ2Mほどの所なので途中から着用したアイゼンの威力もあり、問題はなかった。稜線歩きはトレースがあり、問題なし。堂津岳直下の急坂のヤブこぎもそれほどでもなく。ただ狭い稜線になるので、残雪部分は念のためにアイゼンを装着した。私が2番乗り。帰路は20人位とすれ違った。ネットの検索ではせいぜい日に2~3組が通常のようなので「大入り日」と言えそうだ。信州百名山派と「展望の素晴らしさ」で登山するようだ。確かに中西山、北アルプスは日本海まで全座、雨飾~焼山~妙高~高妻~戸隠~戸隠西岳~一夜山と素晴らしい展望である。この展望を経験すると癖になったり、人に勧めたくなる。今日の遅く来た人達はトレースがあって稜線へは楽だったと言っていた。私も帰路は私の下降点よりは500M位中西山寄りの多くの人達が利用したところ(セップがまったく無い箇所だった)から下降したが、自然園が近くなってから川に行く手をさえぎられてかなり遠周りしたりで、私の往路の方が良かったと自己満足した。帰路は会話したり時間浪費した割に順調で、15:45 発の最終バスに間に合えばとの登山計画書よりかなり早く帰宅できた。でも腰、膝は痛いし、疲れた。通常の登山道とは違いやはり雪上の歩行は膝に悪いせいと思う。

次は「関東甲信越百名山」残り7座を7月までに終わらせる予定です。これは特に難しい山はないので、蛇、虫、蛭に注意したい。予定としては、5/29、30に御神楽岳、金北山。6/5、6に二王子岳、蒜場山。6/26、27にヒメサユリの守門、浅草。海の日までにえぶり差岳。以降は「鹿島、五竜」、餓鬼岳~唐沢岳。ただ今度の職場は休みにくい職場なのが難点です。「峰、山、岳」の発行も大幅に遅れています。6月末予定で頑張ります。

\* 参考までに~全国的に有名な奥裾花自然園の水芭蕉はまだほんの咲き始めです。だいたい自然園全体が雪ノ下です。例年でも身頃は5/10過ぎですし、今年は雪が多く、寒い年でしたから。なお山岳部は勿論の事旧鬼無里村はほとんど携帯電話は圏外です。フキノトウが沢山観光センターまでの雪解けした所に沢山出ていましたが、早く帰宅したくて採りませんでした。